

# 進化するまちの公園

## —— ニーズの変化に対応し、地域の魅力をアップ

ぶぎん地域経済研究所 調査事業部 主任研究員 加藤 達朗

地域住民の憩いの場や運動、レクリエーション、防災拠点などの目的で設置される都市公園。近年では、民間企業との協業でカフェやレストランを併設したり、さまざまなイベントが開催されたりと、地域の特性を活かした魅力的な公園が相次いで登場している。コロナ禍により自宅近くで過ごす時間が増えた今日では、ストレスや運動不足が解消できる場としてや、オープンスペースを楽しむ場として、公園の価値が再認識されるようになってきている。そこで本稿では、こうした身近な公園に対する関心の高まりを踏まえ、公園整備の現状や公園をめぐる最近の動向、今後の展望などについてまとめた。

### 1. 公園の種類

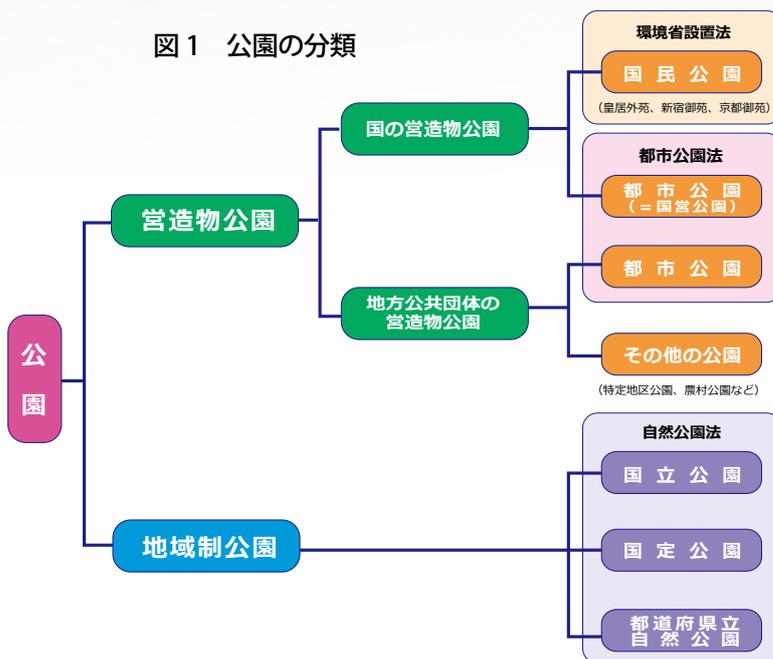
一般に「公園」とは、都市公園法に基づく都市公園に代表される「営造物公園」と、自然公園法に基づく国立公園に代表される「地域制公園」とに大別される。(図1)

営造物公園は、国や地方公共団体が用地を確保し、施設を整備して公開されるのに対し、地域制公園は、国や地方公共団体の用地確保に関係なく、その区域を公園として指定し、主に自然景観を保全する目的として公開されている。

本稿では主に都市公園について述べることとするが、国土交通省によると、都市公園には、近隣住民のための小規模な街区公園(旧称:児童公園)から、総合公園、広域公園、国営公園などの規模の大きな公園まで、さまざまな種類が存在する。(図2)

このうち、国が維持管理を行う都市公園である国営公園は、国土交通大臣により設置され、設置の趣旨から右記の(イ)、(ロ)の2種類に分けられる。現在全国には計17カ所の国営公園が存在する。(図3)

図1 公園の分類



出所：国土交通省 HP

- (イ) ひとつの都府県の区域を超えるような広域の見地から設置する都市計画施設である公園または緑地。(イ号国営公園)
- (ロ) 国家的な記念事業として、または我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため、閣議の決定を経て設置する都市計画施設である公園又は緑地。(ロ号国営公園)

図2 都市公園の種類

種類	種別	内容
住区基幹公園	街区公園	もっぱら街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離250mの範囲内で1箇所当たり面積0.25haを標準として配置する。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で近隣住区当たり1箇所を誘致距離500mの範囲内で1箇所当たり面積2haを標準として配置する。
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離1kmの範囲内で1箇所当たり面積4haを標準として配置する。都市計画区域外の一定の町村における特定地区公園(カントリーパーク)は、面積4ha以上を標準とする。
都市基幹公園	総合公園	都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積10～50haを標準として配置する。
	運動公園	都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積15～75haを標準として配置する。
大規模公園	広域公園	主として一つの市町村の区域を超える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、地方生活圏等広域的なブロック単位ごとに1箇所当たり面積50ha以上を標準として配置する。
	レクリエーション都市	大都市その他の都市圏域から発生する多様かつ選択性に富んだ広域レクリエーション需要を充足することを目的とし、総合的な都市計画に基づき、自然環境の良好な地域を主体に、大規模な公園を核として各種のレクリエーション施設が配置される一団の地域であり、大都市圏その他の都市圏域から容易に到達可能な場所に、全体規模1,000haを標準としWで配置する。
国営公園		主として一つの都府県の区域を超えるような広域的な利用に供することを目的として国が設置する大規模な公園にあつては、1箇所当たり面積概ね300ha以上を標準として配置する。国家的な記念事業等として設置するものにあつては、その設置目的にふさわしい内容を有するように配置する。
緩衝緑地等	特殊公園	風致公園、動植物公園、歴史公園、墓園等特殊な公園で、その目的に則し配置する。
	緩衝緑地	大気汚染、騒音、振動、悪臭等の公害防止、緩和若しくはコンビナート地帯等の災害の防止を図ることを目的とする緑地で、公害、災害発生源地域と住居地域、商業地域等とを分離遮断することが必要な位置について公害、災害の状況に応じ配置する。
	都市緑地	主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図るために設けられている緑地であり、1箇所あたり面積0.1ha以上を標準として配置する。但し、既成市街地等において良好な樹林地等がある場合あるいは植樹により都市に緑を増加又は回復させ都市環境の改善を図るために緑地を設ける場合にあってはその規模を0.05ha以上とする。(都市計画決定を行わずに借地により整備し都市公園として配置するものを含む)
	緑道	災害時における避難路の確保、都市生活の安全性及び快適性の確保等を図ることを目的として、近隣住区又は近隣住区相互を連絡するように設けられる植樹帯及び歩行者路又は自転車路を主体とする緑地で幅員10～20mを標準として、公園、学校、ショッピングセンター、駅前広場等を相互に結ぶよう配置する。

出所：国土交通省 HP

図3 全国の国営公園



## 2. 都市公園の役割と整備状況

主な都市公園の役割としては、地球温暖化の防止、ヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全などにつながる「良好な都市環境の提供」、地震などの災害から住民を守る「都市の安全性向上」、子どもからシニアに至るまで幅広い年齢層の「憩いの場の形成」、地域活性化に不可欠な「交流・連携の拠点」などが挙げられる。

国土交通省「都市公園等整備現況」によると、全国の都市公園数は11万2,714カ所（2020年度）で、このうち街区公園が9万30カ所（構成比79.9%）と約8割を占めている。1972年度の国の第1次都市公園等整備5カ年計画を契機に整備が進展し、埼玉県では、1980年（1,013カ所）以降の40年間で5倍以上に増加しており、2020年には5,356カ所を数える。（図4）また、都道府県別でみると、公園数は全国第8位の多さであるものの、人口10万人当たり換算すると72.9カ所にとどまり、上位県に比べると少ないことがわかる。（図5）

都市公園は、都市計画法施行令第25条6および7のとおり、新しい住宅地を開発した際には公園を設置することが義務付けられていることなどから、全国的にも増加基調にある。

図4 埼玉県の都市公園数



出所：総務省統計局「統計ダッシュボード」

### 都市計画法施行令第25条

- 開発区域の面積が0.3ヘクタール以上5ヘクタール未満の開発行為にあつては、開発区域に、面積の合計が開発区域の面積の3パーセント以上の公園、緑地又は広場が設けられていること。ただし、例外あり。
- 開発区域の面積が5ヘクタール以上の開発行為にあつては、国土交通省令で定めるところにより、面積が一箇所300平方メートル以上であり、かつ、その面積の合計が開発区域の面積の3パーセント以上の公園が設けられていること。

大規模マンションでは、建物に隣接した場所に公園や緑地を原則整備することとなり、マンション住人以外でも利用できるパブリックスペースとなる。もともとマンションの所有地だったスペースを公園として自治体に無償譲渡することから、こうした公園は「提供公園」と呼ばれている。

図5 都道府県別・都市公園数ランキング（左）と人口10万人当たりの都市公園数ランキング（右）

順位	地域	公園数
1	東京都	8,292
2	北海道	7,657
3	神奈川県	7,629
4	千葉県	7,369
5	大阪府	6,629
6	福岡県	6,193
7	兵庫県	6,096
<b>8</b>	<b>埼玉県</b>	<b>5,356</b>
9	愛知県	4,828
10	広島県	3,203

順位	地域	公園数
1	富山県	201.5
2	奈良県	180.6
3	三重県	158.2
4	北海道	146.6
5	宮城県	135.6
6	高知県	127.5
7	福井県	122.2
8	福岡県	120.6
9	千葉県	117.3
10	栃木県	115.9
:	:	:
<b>30</b>	<b>埼玉県</b>	<b>72.9</b>

出所：総務省統計局「統計ダッシュボード」



### 3. 平常時と災害時の安心を創出する フェーズフリー設備

災害発生時、復旧・復興のための拠点機能や、避難者の生命を保護する避難地機能などを備えている防災公園。近年では、平常時と災害時という2つのフェーズについて、2つを分ける垣根をなくす「フェーズフリー」という概念が防災における多くの分野で広がっており、公園においても、一見すると普通の憩いの場だがそのまま避難所や救護拠点として機能する公園が注目されている。

#### ●かまどベンチ

フェーズフリーの代表的な設備として、まず挙げられるのが「かまどベンチ」。かまどベンチの脚は石やコンクリートなどの素材でできており、一見すると普通のベンチだが、座面を取り外すと炊き出し用のかまどになる。冬場の厳しい寒さのなかでは暖をとるために使用することもできる。

#### ●防災パーゴラ、防災<sup>あずまや</sup>四阿

パーゴラとは、イタリア語でブドウなどのつる状の植物を絡ませる棚のことで、日本の藤棚を意味する。  
四阿<sup>あずまや</sup>とは、屋根と四方の柱だけの小さな建物のこと。どちらも通常は訪れた人の日除けや休憩所として利用されるが、災害時にはまわりにテントを張って雨風をしのぎ、救護場所として使用する機能を備える。

#### ●マンホールトイレ

平常時は、地上にマンホールの蓋が設置されているだけだが、災害時にはマンホールの蓋を外し、テントを組み立て、仮設便座を取り付けることで非常用トイレとして使用することができる。

### 4. 姿を消す危険な遊具

今年6月に公表された国土交通省「都市公園等における遊具等の設置状況・安全点検実施状況（2019年度末時点）」によると、都市公園において設置数が

多い遊具は、一般的なブランコである「踏み板式ブランコ」（54,384基、構成比13.9%）がトップ。以下、「すべり台」（50,992基、同13.0%）、「砂場」（49,595基、同12.6%）と続く。

以前はよく見かけた対面式のブランコである「ゆりかご型ブランコ」（2,200基）は、1998年度比7,591基減（77.5%減）と減少数は最大で、回るジャングルジムである「回転塔」（1,457基）は同2,476基減（63.0%減）、「吊り輪」（139基）は同777基減（84.8%減）と減少が目立つ。過去に重大な事故が発生したことや、国土交通省が2002年3月に公表した「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」などを背景に、遊具で遊ぶ子どもたちの安全を優先し、危険だと判断される遊具は撤去される傾向にある。老朽化した遊具の入れ替えの際に、リスクのある遊具の新設を見送る自治体も増えているとみられる。

### 5. インクルーシブ社会の実現を目指す動き

少子高齢化で子どもの公園利用が減少し、子供向け遊具が減る一方で、高齢者のニーズに合わせ、ストレッチやスクワットなどの運動ができる、大人向けの「健康遊具」（32,875基）は1998年度比6.8倍増（28,054基増）と突出して増加。健康増進に役立ててもらおうと、自治体は設置に力を入れている。

すべり台やジャングルジム、のぼり棒など複数の遊具がひとつになった「複合遊具（鋼製）」（18,515基）も同3.5倍増（13,171基増）と、公園の大規模化や、老朽化した遊具の入れ替えにともなう複数遊具の一本化などを背景に、近年人気が高い。



健康遊具が並ぶ公園

また、「誰一人取り残さない」をテーマに掲げるSDGsへの関心の高まりなどを背景に、年齢や性別、身体的能力などを問わない、遊具や設備へのニーズが拡大し、「インクルーシブ遊具」の導入が拡大傾向にある。インクルーシブとは「包括的な」「包み込むような」という意味。「Exclude（排除、除外する）」の対義語である「Include（含める）」が語源で、誰も排除しない社会を目指すという考え方にに基づき、障がいの有無に関係なく、すべての子どもたちが共に仲間として遊ぶことができる公園が増えている。例えば、車イスで登れるすべり台、背もたれのついたブランコなど、体が不自由な子どもでもケガの心配がなく、配慮が施されているのがインクルーシブ遊具の特徴で、こうした遊具を導入した国内初のインクルーシブ公園が

2020年3月、東京都世田谷区に誕生している。

このほか、禁止事項を極力少なくした子どもの遊び場を提供する「プレーパーク」活動も注目される。最近の公園では「ボール遊び禁止」「大きな声を出さない」など、近隣住民に配慮した禁止事項が増えたことや、前述のとおり安全面を重視して魅力的な遊具が撤去されていることへの対応策として、子どもたちが水遊びをしたり、いろいろ冒険を楽しんだりできる場を提供する活動が広がっている。NPO法人日本冒険遊び場づくり協会（東京）のホームページでは、全国342件のプレーパークが存在し、このうち埼玉県では「大宮第三公園プレーパーク」（さいたま市大宮区）や松原緑地公園（草加市）の「冒険松原あそび場」など、計20件が紹介されている。

## 快工房 株式会社（埼玉県川口市）

公園をはじめ屋外施設全般のデザイン・設計・製造・施工・メンテナンスを手掛けている快工房。遊具関連の設置実績だけを見ても、幅広い世代に人気の千葉県船橋市「ふなばしアンデルセン公園」の複合遊具や、2020年に国内で初めてインクルーシブ遊具を導入した東京都世田谷区「砧公園」の音の鳴る遊具、また今春新設された「川口市立グリーンセンター」のアスレチックなど、多数を有している。

最近の公園設備のトレンドについて担当者は、「防災<sup>あずまや</sup>四阿などの防災設備や複合遊具への設置ニーズは引き続き高く、加えて東京パラリンピックが開催された昨年ごろからは、インクルーシブ遊具への人気が高まっている」と話す。



大型複合遊具

近年は、公園施設長寿命化計画（国土交通省）に基づく設備の維持管理・更新が進められており、同社では老朽化した設備・遊具の改修や入れ替え、リニューアルの仕事が大半を占めているとのこと。住民の要望も多様化してきていることから、担当者は「これからも地域特性に合わせた、多くの人が安全に楽しめるオリジナル遊具などを開発していきたい」と力を込める。



インクルーシブ遊具



四阿



アスレチック

図6 Park-PFI 活用状況（合計 102 力所、2021 年度末時点）

公募設置等 指針公表年度	Park-PFI 活用事例一覧（102 力所 [64 自治体、2 地方整備局]）、うち 39 公園で公募対象公園施設供用済			
2017 年度 (4 力所)	北九州市 (勝山公園)	豊島区 (としまどりの防災公園)	名古屋市 (久屋大通公園)	岐阜県 (ぎふ清流里山公園)
2018 年度 (19 力所)	福岡県 (天神中央公園) 盛岡市 (木伏緑地) 恵庭市 (漁川河川緑地) 新宿区 (新宿中央公園) 別府市 (別府公園)	鹿児島市 (加治屋まちの杜公園) 近畿地方整備局 (国営明石海峡公園) 群馬県 (敷島公園) 横浜市 (横浜動物の森公園) 和歌山市 (本町公園)	盛岡市 (盛岡城跡公園) 堺市 (大蓮公園) 京都市 (大宮交通公園) むつ市 (おおみなと臨海公園) 別府市 (鉄輪地獄地帯公園)	盛岡市 (中央公園) 二戸市 (金田一近隣公園) 湯河原町 (万葉公園) 神戸市 (海浜公園)
2019 年度 (23 力所)	平戸市 (中瀬草原) 福岡県 (大濠公園) 渋谷区 (北谷公園) 佐世保市 (中央公園) 木更津市 (鳥居崎海浜公園) 九州地方整備局 (海の中道海浜公園)	平塚市 (湘南海岸公園) 神戸市 (東遊園地) 愛知県 (小幡緑地) 所沢市 (東所沢公園) 各務原市 (学びの森) 群馬県 (観音山ファミリーパーク)	岡崎市 (乙川河川緑地・中央緑道) 東大阪市 (花園中央公園) 富士川町 (大法師公園) 福山市 (中央公園) 神奈川県 (観音崎公園) 四日市市 (中央緑地)	豊田市 (鞍ヶ池公園) 堺市 (大仙公園) 堺市 (大仙公園) むつ市 (代官山公園) 山形市 (ひばり公園)
2020 年度 (25 力所)	越前市 (武生中央公園) 青森市 (青い森セントラルパーク) 茨城県 (偕楽園公園) 堺市 (原池公園) 須賀川市 (翠ヶ丘公園) 茨城県 (洞峰公園) 横須賀市 (長井海の手公園)	北区 (飛鳥山公園) 久留米市 (中央公園) 北区 (飛鳥山公園) 名古屋市 (徳川園) 沖縄市 (コザ運動公園) 我孫子市 (手賀沼公園) 恵庭市 (漁川河川緑地)	静岡市 (城北公園) 浜松市 (万斛庄屋公園) 加賀市 (山代西部公園) 渋谷区 (恵比寿南一公園) 豊川市 (赤塚山公園) 津市 (中勢グリーンパーク) 多摩市 (多摩中央公園)	北九州市 (到津の森公園) 広島市 (中央公園) 東京都 (明治公園) 東京都 (代々木公園)
2021 年度 (31 力所)	広島市 (中央公園) 近畿地方整備局 (国営飛鳥歴史公園) 名古屋市 (鶴舞公園) 塩尻市 (小坂田公園) 茨城県 (常総運動公園) 藤沢市 (鶴沼海浜公園) 新宮町 (新宮ふれあいの丘公園) 三重県 (鈴鹿青少年の森) 小諸市 (飯綱山公園)	榎原市 (新沢千塚古墳群公園) 滋賀県 (びわこ地球市民の森) 大阪府 (住吉公園) 滋賀県 (びわこ文化公園) 勝山市 (長尾山総合公園) 別府市 (春木川公園) 前橋市 (仮称) 日赤跡地生涯活躍のまち (CCRC) 公園 千葉市 (千葉公園)	吹田市 (桃山公園) 横浜市 (山下公園) 東村山市 (萩山公園) 川崎市 (池上新町南緑道) 別府市 (上人ヶ浜公園) 吹田市 (江坂公園) 恵庭市 (恵庭ふるさと公園) 熱海市 (熱海梅園)	江戸川区 (総合レクリエーション公園・新左近川親水公園) さいたま市 (仮称) 埼玉県立総合教育センター跡地公園 射水市 (仮称) 射水アイタウンふれあい公園 大阪市 (難波宮跡公園) 川崎市 (富士見公園) 大津市 (大津湖岸なぎさ公園)

※青字は公募対象公園施設がオープンしている公園。上記の他 130 力所において活用を検討中  
出所：国土交通省資料

## 6. Park-PFI 導入により公民連携が拡大

1999 年に民間資金での公共施設の建設や管理を可能にした PFI 法が施行、2003 年には地方自治法改正により公共施設の管理を民間事業者に委託できる指定管理者制度が始まり、公園の整備や管理を民間がより自由に代行できるようになった。2004 年の都市公園法改正では、「公園管理者以外の者が設け、または管理することが当該都市公園の機能の増進に資すると認められる」場合にも民間施設の設置が認められるようになり、さらに、2017 年 6 月の改正では、公園内にカフェやレストラン、売店、宿泊施設などの魅力的な収益施設を設置・管理する民間事業者を公募で選ぶ公募設置管理制度 (Park-PFI) が創設された。

Park-PFI 導入により、設置管理許可期間が従来の 10 年間から 20 年間に延長されたほか、設置する施設の建蔽率 (土地面積に対する建築面積の割合) が 2% から 12% まで緩和されたことで、事業者にとっては長期的な施設の運営ができるほか、収益施設とその他公園施設とを一体的に整備できるようになった。2013 年に政府が打ち出した「PPP/PFI の抜本改革に向けたアクションプラン」による PPP/PFI 事業の推進方針とも相まって、同制度を活用する公園が全国に広がっている。(図 6)

民間事業者には、ビジネスチャンスの拡大とともにまちづくりに関わる発想が求められ、自治体にとっては、公園整備に民間資金が活用できることによる負担軽減、施設の収益によって得られる収入の確保、維持管理費の削減が期待される。

## 7. 環境一変する整備計画案に対し、相次ぐ住民反発

公園のリニューアルをめぐるのは、自治体の意図に反し、地域住民から「静かな公園を変えないでほしい」などの反発を生むケースも各地で相次いでいる。

茨城県つくば市にある県営の洞峰公園<sup>どうほう</sup>では、昨年 Park-PFI 制度によりグランピング施設やバーベ

キュー施設の整備などを計画。これに対し、バーベキューによる臭気や公園内での飲酒、泥酔などを懸念する近隣住民から有識者を交えた計画の再検討を求める声が多数上がった。つくば市の五十嵐市長も自身のツイッターや今年4月の記者会見でリニューアル計画に異議を唱え、県はこうした声を受けて計画をさらに見直すことを示唆している。

静岡県葵区の城北公園では、市が公園内にドライブスルーカフェや駐車場などを整備する事業で、見直しを求める市民団体が昨年立ち上がった。計画が実現すれば、公園内に車が進入し、広いグラウンドでのボール遊び等が制約されることや、樹木の伐採で景観が損なわれることに反発する声上がり、中核施設である大手コーヒーチェーンのスターバックスコーヒージャパンは今年4月、出店辞退を表明した。

神戸市灘区の王子公園の再整備方針では、市は昨年12月、動物園内の遊園地やテニスコートなどを廃止し、大学の誘致や立体駐車場の建設を図る素案を公表。これに対し、遊園地廃止や少子化時代に逆行するような大学誘致などへの反発や疑問、不信感の声が市民から大きく上がり、今年9月、市は廃止予定だった遊園地を存続させる一方で、引き続き大学誘致を目指す新たな方針の素案を公表した。

公園に商業施設などの賑わい施設が設置されること自体は、地域住民にとって大きなメリットであることは間違いない。一方で、公園内に商業施設などを誘致すること自体が目的化してしまい、結果として公園が本来有する大切な自然や広いオープンスペースなどを大きく損なうことがあっては本末転倒となる。環境保護志向が高まっている今日においては、たとえ賑わい創出や経済活性化を目指す計画であっても、地域住民の理解を得ることは容易ではなくなっている。

図7 埼玉県の県営公園一覧（開設年月日順）

No	公園名	所在都市名	種別	開設年月日
1	大宮公園	さいたま市	広域	1885.9.22
2	戸田公園	戸田市	総合	1964.12.1
3	上尾運動公園	上尾市	運動	1967.10.1
4	秋ヶ瀬公園	さいたま市	都市緑地	1971.6.1
5	北浦和公園	さいたま市	近隣	1974.4.26
6	さきたま古墳公園	行田市	広域	1976.4.1
7	森林公園緑道	滑川町	緑道	1976.4.1
8	久喜菖蒲公園	久喜市	総合	1977.7.1
9	所沢航空記念公園	所沢市	広域	1978.3.3
10	しらこぼと公園	さいたま市/越谷市	広域	1979.6.30
11	こども動物自然公園	東松山市/鳩山町	広域	1980.5.5
12	秩父ミュージアムパーク	秩父市/小鹿野町	広域	1981.6.20
13	羽生水郷公園	羽生市	広域	1981.6.20
14	吉見総合運動公園	吉見町	都市緑地	1982.4.1
15	さきたま緑道	行田市/鴻巣市	緑道	1983.4.1
16	みさと公園	三郷市	総合	1984.4.1
17	荒川大麻生公園	熊谷市	都市緑地	1986.11.15
18	川越公園	川越市	総合都市緑地	1988.7.2
19	和光樹林公園	和光市	総合	1989.3.28
20	熊谷スポーツ文化公園	熊谷市	広域	1991.4.1
21	北本自然観察公園	北本市	総合	1992.7.1
22	加須はなさき公園	加須市	広域	1992.7.4
23	新座緑道	新座市	緑道	1993.4.30
24	吉川公園	吉川市	都市緑地	1995.8.1
25	彩の森入間公園	入間市	総合	1998.4.1
26	花の里緑道	行田市/鴻巣市	緑道	2000.10.1
27	埼玉スタジアム2002公園	さいたま市	運動	2001.10.12
28	狭山稲荷山公園	狭山市	総合	2002.4.1
29	まつぶし緑の丘公園	松伏町	総合	2007.4.1
30	権現堂公園	久喜市/幸手市	広域	2008.4.1
31	春日部夢の森公園	春日部市	総合	2021.10.1

## 8. 埼玉県・公園トピックス

### ●大宮スーパー・ボールパーク構想

県は今年3月、さいたま市大宮区の大宮公園再整備の指針となる「大宮スーパー・ボールパーク構想」



を策定し、公表した。大宮公園は、氷川神社の境内地の一部を官営化して1885年に開設された県内初の県営公園。(図7) 構想内では、野球場やサッカー場、双輪場(競輪場)を含むエリアを再整備する。“試合がある日もない日も楽しめる公園”との基本コンセプトを掲げ、競技施設以外にもカフェやレストラン、バーなど飲食施設を新たに導入することや、マルシェやスタジアムショップなどの物販施設、スケートボードパーク、遊園地などの新規施設も幅広く検討。今後、民間事業者や県民らから意見を募り、基本計画や具体的な事業工程などを作成する。

### ●川口ハイウェイオアシスが開業

今年4月、川口市が運営する「イイナパーク川口」と、首都高・川口PAを連結し一体的に整備した「川口ハイウェイオアシス」がオープン。高速道路の休憩施設と都市公園などを一体整備するハイウェイオアシスは、首都高にとって初の施設となった。玩具や遊具の輸入・販売を手掛けるポネルド(東京)がプロデュースする全天候型遊具施設「ASOBoon(アソブーン)」も出店。首都高を下りずに公園や周辺地域も散策できる。

### ●上尾運動公園(さいたま水上公園)の再整備事業

県は今年8月、上尾運動公園の国道17号線以東のエリアに、「スポーツ科学拠点施設」の整備・運営を行う事業を公表。スポーツ科学の知見を活かした県内アスリートの競技力向上を支援する拠点としての役割を担うと同時に、県内のスポーツ実践者の競技力向上支援やスポーツを通じた県民健康増進を目的とする。国のハイパフォーマンススポーツセンター(HPSC)と連携したスポーツ科学拠点施設の整備を目指す。

### ●いろは親水公園がリニューアルオープン

今年8月、志木市の新河岸川と柳瀬川の合流地点周辺に位置する「いろは親水公園」がリニューアルオープン。新たにベーカーリーカフェがオープンしたほか、川の合流点を一望できる展望デッキを設置。ウォー

ターパーク(夏季以外は複合遊具として稼働)や散策路、多目的広場、水辺の護岸などがあり、自然に親しみながら散歩やウォーキングなどの健康増進の場として、また、憩いの場、交流の場として利用できる。

### ●戸田市公園リニューアル計画

戸田市は昨年3月、市内公園の機能と役割を整理するとともに、公園が持つ潜在的な魅力を引き出し、利用しやすくなる公園としてリニューアルすることを目的に「戸田市公園リニューアル計画」を策定し、公表した。“オールとだで築く新たな公園づくり”を目指し、今年10月には「彩湖・道満グリーンパーク」にて2人乗り自転車「タンデム自転車」のレンタルを開始するなど、さまざまな社会実験を順次進めていく予定。

## 9.まとめ

国土交通省は2019年7月より、“居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり”に賛同する自治体「ウォーカブル推進都市」の募集をスタートさせており、すでに今年8月末時点で全国331(うち埼玉県17)の自治体からの応募を受け付けている。コロナ禍でストレス発散や運動の場を求めて公園へのニーズが高まるなか、公園のほか街路や広場等、屋外のオープンスペースを有効に使うウォーカブルなまちづくりに向けた取り組みが一段と注目されていくのではないだろうか。

公園は今日では、単に憩いの場として利用されるだけでなく、街に賑わいをつくるうえで欠かせない存在となっており、引き続き公民連携による魅力的な整備事業も各地で展開されていこう。環境や地域住民を軽視するような安易な収益施設などの設置計画ではなく、地域に寄り添った丁寧な事業運営が望まれる。

来年2023年には、日本に都市公園制度が制定された1873年から数えて150周年の節目の年を迎える。国土交通省による記念事業も予定されており、こうした機会も活用し、公園がさらに進化していくことを期待したい。